

開館20周年記念講演会

①生命は、いつ、どこで、どのようにして生まれたか？

と き 11月3日(金) 午前11時～正午

講 師 東京工業大学特任教授 丸山茂徳

②巨大地震に掘削科学とコンピュータで挑む

と き 11月24日(日) 午前11時～正午

講 師 兵庫県立大学大学院教授 後藤忠徳

共通事項 ところ サイエンスショールーム 対 象 どなたでも

定 員 60人 参加費 無料 ※申し込み不要

★午後1時30分～50分、講師による展示解説を行います(3日は要観覧料)

いのち  
生命の海から

館長 山中 敦子

宇宙は鏡

幼い頃は、「お父さんにそっくりね!」と言われるたびに落ち込んでいたものです。信楽焼のタヌキに例えられることもある父を見上げながら、「子は親に似る」という自然の法則の理不尽さをかみしめていました。

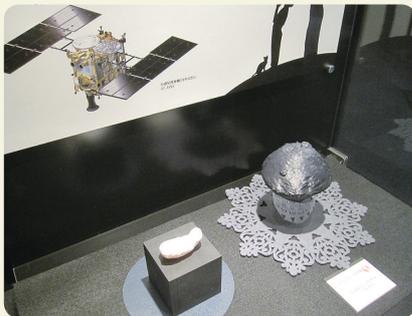
中学校で遺伝の仕組みを習うとともに諦めがつき、その後「進化」について学び、現在の自分が「遺伝」と「進化」というシステムによって、億年の時を経てここに形作られている奇跡に感じ入りました。父に似ていると嘆いていた私を生み出した遺伝子は、父母、祖母、お墓の下のご先祖様からさらに遡り、猿、哺乳類、魚類のご先祖様、果ては40億年前の海で誕生した最初の生物から連続と、変化しつつも受け継がれてきたものなのです。

親族の集まりで、血の繋がった顔と顔を見比べながら「タヌキ顔は山中家の特徴だね。きつとご先祖様はタヌキだったんだよ!」なんて笑い話になることがあります。

す。では、遺伝と進化で繋がっている地球の生命の特徴とは何でしょうか? 地球に最初に誕生した生物が持っていた特徴とは?

自分を知るには、まず自らを外から見つめる視点が必要です。宇宙規模で生命を考えるアストロバイオロジー(宇宙生物学)という分野があります。遺伝子でつながっている地球上の生命一族の特徴をあぶりだし、地球最初の生物について考えようとしています。

宇宙は、私たちが地球の生命について考えるための鏡でもあるのです。父に似ていると嘆いていた幼子は、鏡の中に信楽焼の風貌を認めつつ、宇宙を思う中年に成長しましたよ、お父さん。



企画展「いのちはどこから?～アストロバイオロジーの世界～」開催中!

11月 イベントカレンダー

ショー ワークショップ おはなし

- 2 科学ふしぎ発見! #144
  - 3 講演会「生命は、いつ、どこで、どのようにして生まれたか?」  
メダカすくいにいくすか? タヌ?
  - 4 折染めに挑戦してみよう
  - 9 算数ゲームで遊んで学ぼう!  
JAXAコスミックカレッジ・ファンダメンタルコース  
展示解説  
コレシオサウルスのひみつ  
小学校高学年向け理科実験室  
秋を染めよう! 草木染め
  - 10 一般科学講座 第3部  
大人の理科授業 ユーリカー①
  - 14 テックスビジョン 2019 ミカワ  
ワークショップ  
小学校低学年向けかがく工作室  
音楽の秋! 生き物たちのかなる音を楽しもう
  - 17 スペシャル展示解説  
「アノマロカリスとなかまたち」  
おはなしライブ
  - 23 クリスマスリースづくり  
講演会  
「巨大地震に掘削科学とコンピュータで挑む」  
展示解説  
「ゴ! ゴ! モンスターズ」
  - 24 小学校中学年向けかがく教室  
石の絵・小石でつくる壁掛け  
おもろ化学実験  
く空気のふしぎ
  - 30 木工工作 11月2・3・4日開催
- 各イベントの時間・定員・参加方法などは科学館ホームページでご確認ください。